

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成27年12月25日

施設名	香北青少年の家	所管課室	教育委員会 生涯学習課
-----	---------	------	-------------

1. 施設の概要

指定管理者名	(株)香北ふるさと公社
指定期間	平成24年4月1日～27年3月31日
施設所在地	香美市香北町吉野1300
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成26年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まれ!!未来の麺職人 ・子どもフェスティバル いきいき合衆国で遊ぼう! ・日帰りだよ!親子忍者大会体験 ・子どもフェスティバル忍者大会 ・青年リーダー研修 など
施設内容	<p>青少年教育施設として、「自然とのふれあい体験、共同生活体験及び体験的な学習活動などを通じて心身ともに健全な青少年の育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:本館 鉄筋コンクリート2階 延べ1,002.65㎡ 別館 鉄筋コンクリート平屋 延べ295㎡ 研修棟 鉄筋平屋 延べ300.16㎡</p> <p>施設概要:</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修室 3室(定員20名,80名,120名) 宿泊室 定員121名 浴室3室 野外炊飯場 3箇所 定員300名 ランニングコース 1コース 1.7km オリエンテーリングコース 1コース 10km ウォークラリーコース 2コース 5km
職員体制	職員:所長1名 所長代理1名 事務員1名 指導員4名 調理員4名 合計:11名

2. 収支の状況

		H25年度(決算)	H26年度(決算)	H27年度(予算)
収入	県支出金	35,923,000	36,969,000	38,473,000
	事業費収入	956,906	708,928	970,000
	収入計	36,879,906	37,677,928	39,443,000
支出	事業費	1,484,508	1,359,141	1,839,000
	管理運営費	11,239,674	10,498,716	9,528,000
	人件費	22,399,561	23,029,133	25,155,000
	消費税	1,756,163	2,790,938	2,921,000
	支出計	36,879,906	37,677,928	39,443,000
使用料収入		2,104,240	2,123,640	2,140,000

3. 利用実績

(1) 宿泊者数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
宿泊者数	6,913	6,382	7,252	6,869	6,736	6,830

(2) 利用団体数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
団体数	169	136	154	160	166	157

(3) 利用者数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平均
人数	15,671	14,119	16,194	15,027	14,627	15,128

4. 業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学校や団体へのチラシ配布ほか、高知新聞や香美市などにも積極的に施設のPRを行っているほか、主催事業の参加者には、お礼と共に写真や来年度の事業予定を送り、次回の利用へと繋げている。 ○「麺職人」事業では仲間で協力する必要度を調整するなど、プログラムを工夫し、より参加者が達成感を感じられるように行われている。 ○主催事業では多くの地域の団体と、宿泊学習では森林管理署等と連携するなど、地域と連携し、事業がより充実するように取り組んでいる。 ○受入れ事業についても忍者大会を取り入れるなど、より多くの子ども達が参加できるよう事業の見直しを行った。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設利用者へのサービスとして、近隣の観光施設の連携割引企画を交渉し、27年度から実施できる取り組みを行った。 ○宿泊学習の際に利用者が「何を目的とし」「何を求めているのか」を把握し、指導の役割分担を検討し、より良い宿泊学習とするために取組んでいる。 ○発達障害を理解し適正に対応するため、職員研修を行い職員の資質向上に取り組んだ。 ○利用者の多い長期の休み期間中は、休館日(月曜日)も、開館し利用者のニーズに応えている。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフモニタリングシートを活用し、自己点検を行い業務改善に取り組んでいる。 ○南海地震対策として、倉庫を防災倉庫として整備し備蓄品の補充を行った。 ○目指したいチーム像を確認し、職員自身も成長できるような職場づくりに取り組んでいる。 ○学生ボランティアを「青年リーダー研修」で育成し、主催事業に積極的に活用している。
④利用実績	<p>○平成25年度と比較して、宿泊者数は133名の減少、利用団体数は6団体増加となっている。利用者数は、400名減少した。</p>
⑤収支の状況	<p>○宿泊者数、利用者数とも減少したが、一般の利用者増により、平成25年度と比較して、使用料収入は19千円の増収となった。 管理代行料は、予算額を全額執行した。 平成26年度決算額 36,969,000円</p>
総合評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経営意識が高く、施設の目標もしっかりと認識されており、アンケート評価も高く、施設の強みを活かした事業展開ができています。 ○古い施設だが清掃が行き届き、きめ細かい気配りのある管理運営ができています。 ○様々な方法によるニーズの把握や施設職員、ボランティアスタッフへの研修を充実させるなど、サービスの更なる向上に向けた取り組みを進めている。 ○課題となっていた主催事業の内容の見直しや新規プログラムの開発に向けては、事業計画ができています。さらに、周囲の自然を生かした事業や親を対象としたプログラムなど、より幅広い事業展開を期待する。また、主催事業だけでなく、日常の施設運営において、より地域と連携した取り組みができることを期待する。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの